

高校教員向けアンケート

報告書

マイナビ進学総合研究所では、高校教員に「入試制度の把握状況」「今年度の進路指導計画」などを幅広く調査しました。全国の高等学校の状況を正しく把握し、高等学校及び高等教育機関の皆様には有益な情報を発信することを目的としております。このたび、調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

【調査概要】

- 調査名 : 高校教員向けアンケート
- 調査委託先 : 株式会社クロス・マーケティング
- 調査回収期間 : 2024年4月23日~4月30日/2024年5月17日~5月21日
- 調査回答者 : 全国の高校への一斉FAXによる回答およびクロス・マーケティングの高校教員モニタ会員による回答
- 有効回答者数 : 723人 (マイナビ : 223人/クロス・マーケティング : 500人)

※文字数と紙面の都合により、表現を短縮している場合があります。

Q. あなたが主にお勤めの高校の進路実績として、最も近いものを選択してください。

実施したアンケート中の回答選択肢	本誌での表現
1.ほとんど全員が大学に進学する	1.進学校 (ほぼ大学)
2.ほとんどが大学に進学するが、一部短大・専門学校にも進学する	2.進学校 (短大・専門含む)
3.約半数は大学に進学するが、短大・専門学校への進学者や、就職者もいる	3.進路多様校
4.短大・専門学校進学者や就職者が多い	4.短大・専門・就職メイン校
5.上記のどれにも当てはまらない	5.その他

Q. 受験人数の増減に関する設問

実施したアンケート中の回答選択肢	本誌での表現
とても増えた (+20%以上) / とても増える (+20%以上)	とても増えた / とても増える
増えた (+20%未満) / 増える (+20%未満)	増えた / 増える
変わらない (概ね±5%以内)	変わらない
減った (-20%未満) / 減る (-20%未満)	減った / 減る
とても減った (-20%以上) / とても減る (-20%以上)	とても減った / とても減る

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 進学情報統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

INDEX

調査結果 TOPICS	…P.3
回答者属性	…P.4
1. 受験人数の変化の予想（昨年度との比較）高校 3 年生担当もしくは進路指導責任者	…P.5
総合型選抜／学校推薦型選抜／一般選抜／大学共通テスト	
実際の声	
受験人数の変化の予想（昨年度との比較）高校 2 年生担当	…P.8
総合型選抜／学校推薦型選抜／一般選抜／大学共通テスト	
実際の声	
2. 出願させる予定の校数	…P.11
高校 3 年生担当もしくは進路指導責任者	
高校 2 年生担当	
3. 志望学問分野の変化予想（昨年度との比較）高校 3 年生担当もしくは進路指導責任者	…P.12
回答割合 変化の内容とそう考える理由	
志望学問分野の変化予想（昨年度との比較）高校 2 年生担当	…P.13
回答割合 変化の内容とそう考える理由	
4. 入試制度の変更点や新制度の把握状況	…P.14
総合型選抜 高校 3 年生担当もしくは進路指導責任者	
回答割合 把握できていない部分がある要因	
総合型選抜 高校 2 年生担当	…P.15
回答割合 把握できていない部分がある要因	
学校推薦型選抜／一般選抜／大学共通テスト	…P.16
5. 志望校選びの傾向	…P.17
大学・短大 「特になし」などの回答割合 考えられる要因	
専門学校 「特になし」などの回答割合 考えられる要因	…P.18
6. 進路指導におけるイメージの影響	…P.19
7. 生徒に重視してほしいポイント	…P.20
学べる内容における重視してほしい内容	…P.21
8. APPENDIX	

調査結果 TOPICS

・受験人数予想

いずれの選抜方式でも、半数以上は昨年度と変わらないだろうというコメントだった。

総合型選抜と学校推薦型選抜では、「減る」予想はほぼなく、「増える」予想が「減る」予想よりも優勢だった。

一般選抜と大学入学共通テストでは、「減る」が「増える」よりも優勢。担当学年による大きな差はなかった。

総じて、**年内志向**、**安全志向**が今年度も継続する見込みというコメントが多い結果となった。

・指導における出願校数

総合型選抜は **2校までの回答が半数以上**を占めた。特に2年生よりも3年生・進路指導責任者担当において、0・1校という回答が多く集まった。後の設問に集まっているコメントから、各校の新しい入試に関する情報収集から対策までを何校も指導するのは、時間が足りず難しいといった考えがあることが背景にあると推測できる。一般選抜では3～5校という回答が半数。担当学年による大きな差はなかった。

・今年度の担当学年の志望学問分野

志望学問分野は、変化があるというコメントが約10%あった。具体的には、「**情報**」「**データサイエンス**」などのキーワードが並んだ。**理系**希望者、特に工学系の希望者が増えたというコメントも複数あった。

・入試制度の変更点や新制度の把握状況

入試方式別に、変更点や新制度についてどれくらい把握できているか、教員の声を確認した。総合型選抜は他に比べて把握できていない割合が大きかった。把握できていない要因としては、**変更点が多い**、**情報を集める時間・手段がない**といった声が特に多かった。

・志望校選びの傾向

大学・短期大学においては、「**地元志向**」「**安全志向**」といったキーワードは一定数あるものの、特に進学校においてはコロナの影響もなくなり**他の地域への進学希望者が増えている**という声もあった。

専門学校志望校選びにおいては、より「**地元志向**」が強い傾向にあった。また、「学力に関わらず将来のことを考えて」といったポジティブな選択をする生徒と、「学力や学ぶ・就職するという意欲が低いから」などのネガティブな選択をする生徒で、**二極化**しているといった声が複数あった。

・進路指導におけるイメージの影響

「**学べる内容が充実している**」がもっとも多く、約80%が影響すると回答した。次いで「**就職力が高い**」と「**サポートが手厚い**」。「**キャンパスが立派な**」と「**グローバルな**」は影響しないという回答が約10%で他と比べて高い。

・志望校選択において生徒に重視してほしいポイント

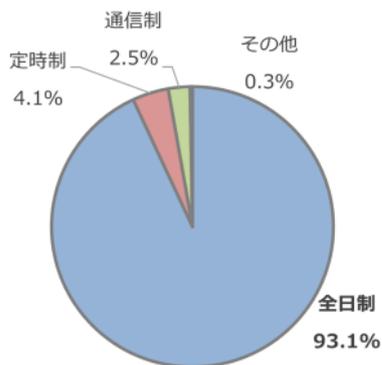
「**学べる内容**」と回答したのは約75%、その後は「**取れる資格**」「**自分の学力との相性**」と続く。

「学べる内容」の中では、「**学びの面白さ**」が約65%で、「**学びの幅広さ**」「**教員の専門性の高さ**」と続く。

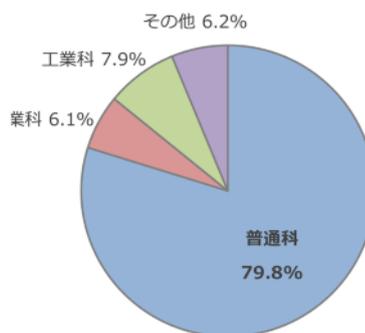
回答者属性

※いずれのグラフも N 数 = 723

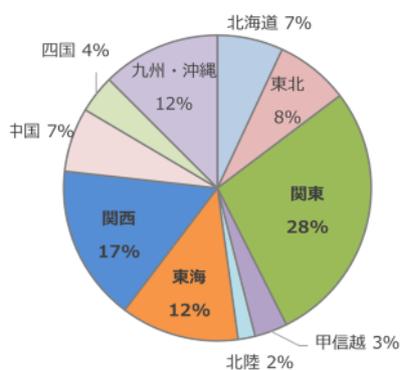
Q. あなたがお勤めの学校の**課程**を選択してください。



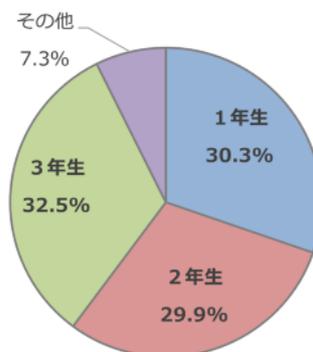
Q. あなたが主に担当している**学科**を選択してください。



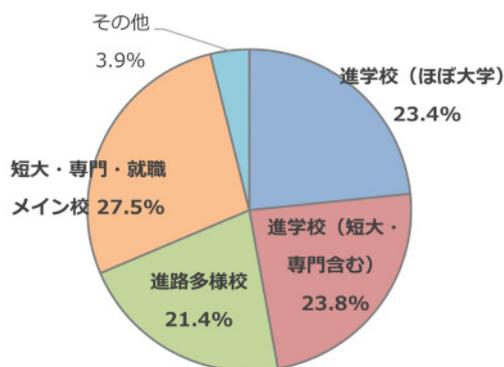
Q. あなたがお勤めの**高校の都道府県**を選択してください。(エリアごとに集計)



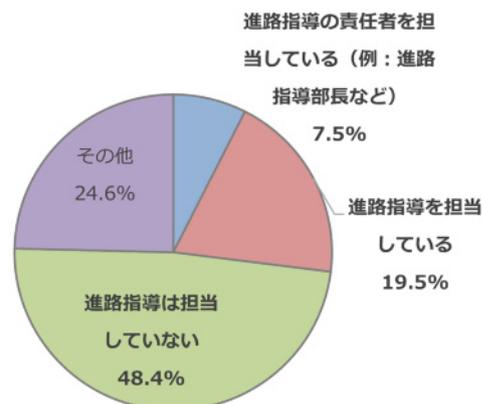
Q. あなたが主に**指導している学年**を選択してください。



Q. あなたがお勤めの**高校の進路実績**として、最も近いものを選択してください。



Q. あなたの**校務分掌**を選択してください。



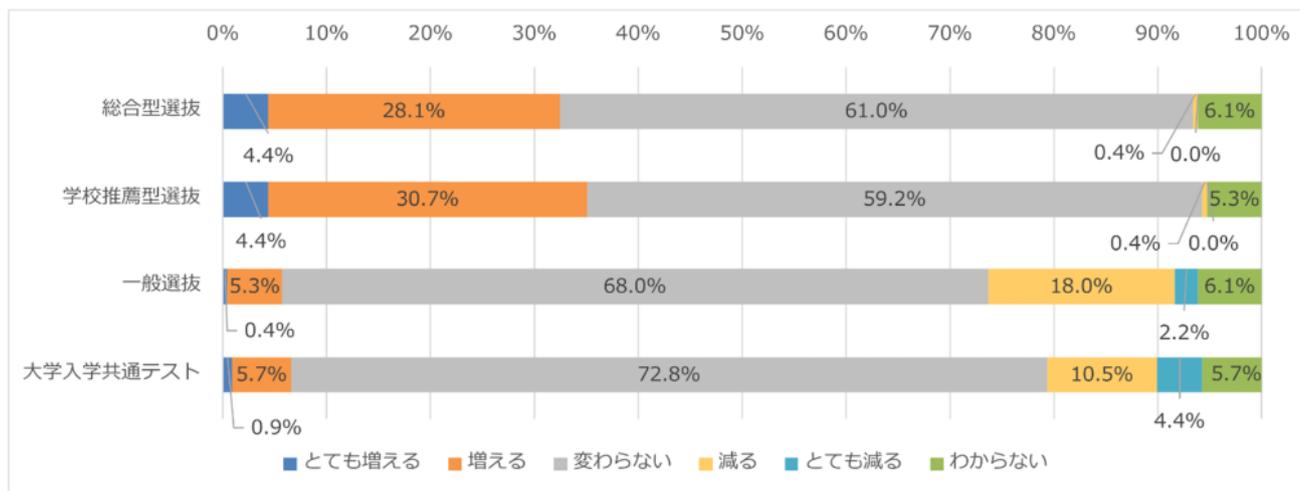
1. 受験人数の変化の予想（昨年度との比較）

1-1. 高校3年生担当もしくは進路指導責任者

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2024年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

※いずれのグラフも「全日制」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=228



(次ページへ続く)

■ 実際の声（※全日制のみ、一部抜粋）

【総合型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増える	部活動推薦の生徒が多い	東海	短大・専門・就職メイン校
とても増える	保護者の安全思考が強く、特に女子の年内入試が増える。また、T大などの大学が他大学併願可の推薦入試を開始、拡大する為、国立大志望の生徒も年内入試を受験する。	関東	進学校（短大・専門含む）
とても増える	理系文系の枠を越えた教育が求められているため。	関東	進学校（短大・専門含む）
増える	4月の面談でそのような結果が出た	九州・沖縄	進路多様校
増える	総合型選抜での定員確保が進んでいるから。	東北	進路多様校
増える	学力低下を補うために総合型、推薦型を増やそうとしている	関西	進学校（ほぼ大学）
増える	学校生活を楽しんだ生徒が、総合型や学校推薦で合格しているのを見ているので	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）
増える	早く大学を決める傾向から	中国	進学校（ほぼ大学）
増える	受験機会の増加	四国	進学校（ほぼ大学）
増える	工業高校なのでほとんどの生徒が総合型選抜を目指しているから	東北	短大・専門・就職メイン校
増える	推薦が増えているから	九州・沖縄	進路多様校
増える	進路を早く決定したい生徒・保護者が増えているから	九州・沖縄	進学校（ほぼ大学）
増える	手堅く考える生徒が増えた気がする	関西	進学校（ほぼ大学）
増える	年内入試の加速化のため	北海道	進路多様校
増える	各大学がそれを推している	関東	進学校（ほぼ大学）
増える	推薦を狙うのは社会全体のトレンドになっている。	関東	進学校（ほぼ大学）
増える	推薦入試の募集枠が拡大している。	東北	進学校（短大・専門含む）
増える	総合型や推薦受験の生徒が増えるから	九州・沖縄	進路多様校
増える	大学が入りやすくなったから	関西	短大・専門・就職メイン校
変わらない	毎年変わらない	関西	進学校（短大・専門含む）
変わらない	勤務校は大学の附属高校であり、入学者の偏差値に大きな差異はないので、出願傾向・合格者数ともに概ね変わらないと想像している。	関東	進学校（短大・専門含む）
変わらない	二者面談を終えて、実際に昨年度とあまり変わらなかったため。	関東	進路多様校
減る	特に理由はなく希望結果だから	東海	短大・専門・就職メイン校

【学校推薦型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増える	指定校推薦を希望する生徒が多い	関東	短大・専門・就職メイン校
とても増える	大学の附属高校なので、基本的内部推薦者がほとんどだから。	関東	進学校（ほぼ大学）
増える	年内に進路を確定したいという家庭のニーズが高く、指定校推薦枠を昨年度よりも利用したいため	東海	進学校（短大・専門含む）
増える	総合型選抜や学校推薦型選抜を受験希望者が現段階で昨年より多いから。	関西	進学校（短大・専門含む）
増える	既に生徒から総合型、学校推薦型について質問を多く受けているため。	東海	進学校（ほぼ大学）
増える	推薦の意向が保護者も含めて強く感じるから	中国	進学校（短大・専門含む）
増える	年内に合格したい生徒が増加しているため、特に私立大学の学校推薦型選抜は増加すると考えるため	関西	進学校（短大・専門含む）
増える	模試の成績が昨年度より低いため	九州・沖縄	進路多様校
増える	総合型選抜や学校推薦型選抜による受験者数や合格者数が年々微増しているから。	中国	進学校（短大・専門含む）
増える	自己の取り組みを活用した入試を希望する生徒が増えているから。	九州・沖縄	進学校（ほぼ大学）
増える	学校推薦型の募集人数が増えていることに加えて、生徒やその保護者の年内入試への意識は高まっているから。	甲信越	進学校（短大・専門含む）
変わらない	新課程に変わったばかりであり、様子見になると思う	東海	進学校（ほぼ大学）
変わらない	ここ数年、年内入試志望者が増え、これ以上は増えることはないであろうから	関東	進学校（短大・専門含む）
変わらない	商業高校のため、もともと総合型、学校推薦型で出願している。	中国	進路多様校
変わらない	第1回進路志望調査の結果を踏まえた上での回答だから	東北	進路多様校
変わらない	私大などで総合型で受けても受かるといっても不合格がこわいので指定校で受けたいという生徒が多いので。	四国	その他

■ 実際の声（※全日制のみ、一部抜粋） 続き

【一般選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増える	学力が上がっている	関西	進学校（ほぼ大学）
増える	総合型・学校推薦型への取り組みが、他校と比べて充実していないから。	関西	進学校（短大・専門含む）
増える	少子化による大学入試の難易度低下。	関西	進学校（短大・専門含む）
増える	今年の3学年は、一般受験に力を入れた指導をしているため。	関東	進学校（短大・専門含む）
変わらない	特に変化を感じないから。	東海	進学校（短大・専門含む）
変わらない	一般入試志向が根深い	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	人数比では同じくらいかと思う	関東	短大・専門・就職メイン校
変わらない	難関大学は一般入試が主流	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	本校生徒の進路希望の傾向に大きな変化がないから。	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）
変わらない	国公立大学や難関私大の志望者が多い場合、年内入試への志向は高まらないから。	関西	進学校（ほぼ大学）
変わらない	本校ではもともと学校推薦型で受験する生徒がほとんどで、大きく変動はない。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
変わらない	学力を伸ばして大学進学を目指す指導に重きをおいているため。ただし、推薦の枠が大きくなっているため、柔軟に対応している。	中国	進学校（ほぼ大学）
変わらない	元々ほぼ全員が大学進学希望であり、国公立志向が強い	関西	進学校（ほぼ大学）
変わらない	一般選抜を中心に指導をしていくため。総合型選抜・学校推薦型選抜（公募制）での国公立大学受験は微増する見込み。	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	一般選抜、共通テストに関しては基本的に全員受験を指導している。選抜試験に関しては、昨年から出願すべきかどうかの指導をはじめているため、概ね同じくらいの傾向になると予想される。	関西	進学校（ほぼ大学）
変わらない	増加傾向にはありますが、学校として年内入試を特に強く薦めてはいない為、然程変化はないと考えます。	甲信越	進学校（短大・専門含む）
変わらない	基本的に一般選抜で受験するため。	関東	進学校（ほぼ大学）
減る	全国的に推薦を増やす流れのため。	東海	進学校（ほぼ大学）
減る	一般選抜の定員が減っているため	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	生徒は学力が低く、一般選抜は定員が減り、厳しさを増している	東海	進路多様校
減る	一般選抜に耐えうる学力不足を生徒たちが感じているので。	四国	短大・専門・就職メイン校
減る	年内で決めたがる「保護者」が多い。本人よりも「失敗」「リスク」を回避したがる	北海道	進路多様校
減る	受験方法に関する傾向の変化	北海道	進路多様校
減る	大学進学希望者が減少しているため	関東	その他
減る	推薦利用者が増えそうだから	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）

【大学入学共通テスト】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増える	希望調査結果より	九州・沖縄	進路多様校
変わらない	進路志望が同様の傾向であるから。	東北	進学校（短大・専門含む）
変わらない	私立の共通テスト利用は増えるから 早期に合格を決めたがる生徒が増えている	甲信越	進学校（短大・専門含む）
変わらない	±20%までの大きな変動には至らないと考える	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	新課程になったからといって、そんなに変わらないと思うので。	東海	進学校（ほぼ大学）
変わらない	昨年、すでに年内入試が増加し、共通テスト受験者が減少しており、今年度は昨年度並みとなる予想だから。	関西	進学校（ほぼ大学）
変わらない	さまざまな進路へ進むため、受験方法もばらけている	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
減る	共通テストと私立入試の形式が異なり、新課程の色が濃くなったことから、共通テストの受験者は減少する見込み。	四国	進路多様校
減る	進学希望が少なめになっている	中国	進路多様校
減る	生徒の特質に合わせた受験スタイルをとるため	北海道	進路多様校
とても減る	指定校推薦が多い	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
とても減る	一般選抜、共通テストは受験なしの予定。	中国	短大・専門・就職メイン校

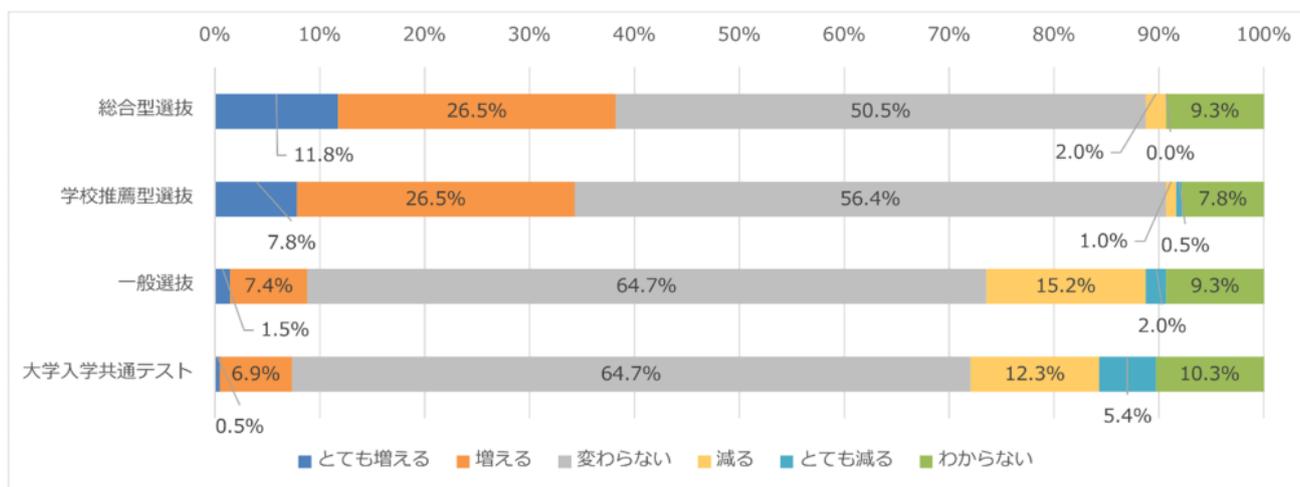
1. 受験人数の変化の予想 (続き)

1-2. 高校2年生担当

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2024年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

※いずれのグラフも「全日制」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=204



(次ページへ続く)

■ 実際の声（※全日制のみ、一部抜粋）

【総合型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増える	テスト以外で評価されることが増えるから。	東北	短大・専門・就職メイン校
とても増える	実施する大学や学部が増えている	関西	進学校（ほぼ大学）
とても増える	従来のAO入試を利用する生徒がかなり増えた。学校推薦だと重荷に感じるからか。	東北	進路多様校
とても増える	割と優秀な学年で、大学希望者がおおく、総合探究でアピール実績を作ることが可能	東北	短大・専門・就職メイン校
とても増える	学力が低下してきている。	東北	進学校（ほぼ大学）
とても増える	生徒数が+50人になったから。学校推薦型は総数に変化はないから。	関東	進学校（短大・専門含む）
とても増える	進学希望者が増加しているため	関西	進路多様校
とても増える	学力試験を受けない選抜に流れる	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
とても増える	一般選別に受かる自信のある生徒がすくない。	関東	進路多様校
とても増える	推薦での合格率が上がってきている	関西	進学校（短大・専門含む）
とても増える	大学が増やしているから。	四国	進路多様校
とても増える	選抜方法が多岐化しているため	関東	進学校（ほぼ大学）
増える	推薦から挑戦したい生徒が増えている。	東北	進学校（ほぼ大学）
増える	大学附属校で多くが上の大学に進学するため、総合型以外が増えるとはあまり思えない	関東	進学校（ほぼ大学）
増える	早期の進路決定と受験科目負担軽減	東海	進路多様校
増える	世間全般が人物重視の試験を行う傾向があるから	中国	進学校（ほぼ大学）
増える	一般選抜に向けてのカリキュラムが組まれていない、及び一般選抜を勝ち抜く学力を身につけられている生徒数が少ない。	中国	短大・専門・就職メイン校
増える	準備は大変だが総合型で第一志望は受ける価値はあるから	東海	進学校（短大・専門含む）
増える	総合型選抜を採用する学校が増えており、推薦型とも併用できる学校が多いため	甲信越	進学校（短大・専門含む）
増える	各大学で定員枠が多くなる傾向がみられるため	北海道	進学校（短大・専門含む）
変わらない	以前から新しい入試制度に合わせた進路指導をしているから。	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	進学の割合が高くないので、例年と変わらないと思う	関東	短大・専門・就職メイン校
変わらない	面談等での聞き取りによる進路傾向がそうであったから	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	生徒数の減少があるから。	四国	短大・専門・就職メイン校

【学校推薦型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増える	安心して将来を決めたがっている生徒が多い	東海	進学校（短大・専門含む）
とても増える	推薦を希望する者が多いから。	東北	進学校（短大・専門含む）
とても増える	本人、保護者とも早期の進路決定を望む傾向が強まっているから。	関東	進路多様校
増える	最後まで頑張れる生徒が少ない	関西	進路多様校
増える	学校推薦型選抜、特に指定校推薦で早めに安全に進路決定をしたがる傾向が見られるから。	北海道	進学校（短大・専門含む）
増える	指定校が多い	九州・沖縄	進路多様校
増える	新課程の生徒で大学の動向がつかめない。	東海	進路多様校
増える	生徒のレベルを考えると一般入試は益々難しくなり、指定校推薦を希望する生徒が年々増加しているから	関東	進学校（短大・専門含む）
増える	推薦入試が主流となっている	四国	短大・専門・就職メイン校
増える	自己推薦や学校推薦希望が増えてきている	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）
増える	国公立大学の推薦枠の拡大	九州・沖縄	進学校（ほぼ大学）
変わらない	二者面談で進路相談に乗る際にも、学校推薦のことや総合型選抜の内容について質問をする生徒が増えてきている。以前から推薦入試を活用する生徒は多かったが、今年はより課外活動を意識している生徒が多いと感じる。	東海	進学校（短大・専門含む）
変わらない	ほとんどの生徒が指定校制で進学するため。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
変わらない	総合型選抜や学校推薦型選抜にむけての取り組みを始めた。学校推薦型は公募が大部分なのであまり変わらない予想。	関西	進学校（短大・専門含む）
変わらない	進学するほぼすべての生徒が総合型選抜か指定校推薦での受験をし、数が大きく変わることはないため。	関西	短大・専門・就職メイン校

■ 実際の声（※全日制のみ、一部抜粋） 続き

【一般選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増える	一般選抜で頑張れるように日頃の学習状況改善に取り組んでいるので、多少の増加はあると考えている。	関東	進路多様校
増える	入学時の全体の学力が上の学年よりも高い。	関東	進学校（短大・専門含む）
変わらない	この数年、傾向が変わらないから。	中国	進学校（ほぼ大学）
変わらない	昨年度同様の在籍数と進路希望なので。	北海道	短大・専門・就職メイン校
変わらない	一般受験する者が多く、総合型選抜や学校推薦型選抜に流されにくい	関東	進学校（ほぼ大学）
変わらない	一般入試受験が多いので	関西	進学校（ほぼ大学）
変わらない	学力層を考えると自然とそうなるから	東北	進路多様校
変わらない	高校3年の先生に聞いたから	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	Z世代と呼ばれる生徒が中心となり、また、コロナの影響があった年代だから。	関西	進学校（ほぼ大学）
減る	学力不足	東北	短大・専門・就職メイン校
減る	安全思考の生徒が増えたこと。経済的理由も含めて、浪人のリスク回避を考える家庭が多い。	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	年内受験を望む生徒が増えるから。	関西	進学校（ほぼ大学）
減る	子供たちは推薦の方が早く決まるし楽だと思っているから	北海道	進学校（ほぼ大学）
減る	受験勉強をして合格することをコスパが悪いと考える保護者が増えているため	関西	進学校（短大・専門含む）
とても減る	一般試験で合格する力はない。	東海	短大・専門・就職メイン校
とても減る	早く受験を終えたいと思う生徒が増えている	関西	短大・専門・就職メイン校

【大学入学共通テスト】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増える	大学入試共通テストを使用した推薦型選抜を受ける生徒がある程度定着しているから。	中国	進学校（ほぼ大学）
変わらない	前年度までの傾向からの予測	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
変わらない	現状、総合型選抜が多く、それ以外を使うことがほぼない	関西	短大・専門・就職メイン校
変わらない	特別何かをしているわけではないから	中国	進学校（ほぼ大学）
変わらない	受験者数も受験傾向も変化が無い	東海	進学校（短大・専門含む）
減る	負担増	関西	進学校（ほぼ大学）
減る	共通テストの試験内容の特殊化	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	学校のカリキュラムが対応しきれていないから。	関西	進学校（短大・専門含む）
減る	学力レベルの問題	東海	短大・専門・就職メイン校
減る	生徒が年々減っている	四国	その他
減る	前年度の生徒と違うから	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	今までに比べ、受験に耐えられる生徒が減った印象と楽を求めていると感じるため、また共通テストに関しては私立入試と連動性が感じられず、受験者は減ると予想している。	関東	進学校（短大・専門含む）
減る	本校では、年内入試の需要の高まりと国公立志向が薄れているため	関東	進学校（短大・専門含む）
とても減る	早く進路先を決めてしまいたいという生徒が増加しているから	東海	進学校（短大・専門含む）
とても減る	学力	関東	進学校（短大・専門含む）
とても減る	早く進路を決めたいと思う生徒が増えている。	東海	進路多様校
とても減る	本人の現時点での希望	関東	進路多様校

2. 出願させる予定の校数

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、何校ぐらい出願するよう指導予定ですか？

【総合型選抜での校数／一般選抜での校数／各選抜方式を合計した校数】を教えてください。

高校3年生担当もしくは進路指導責任者

※いずれのグラフも「全日制」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=228

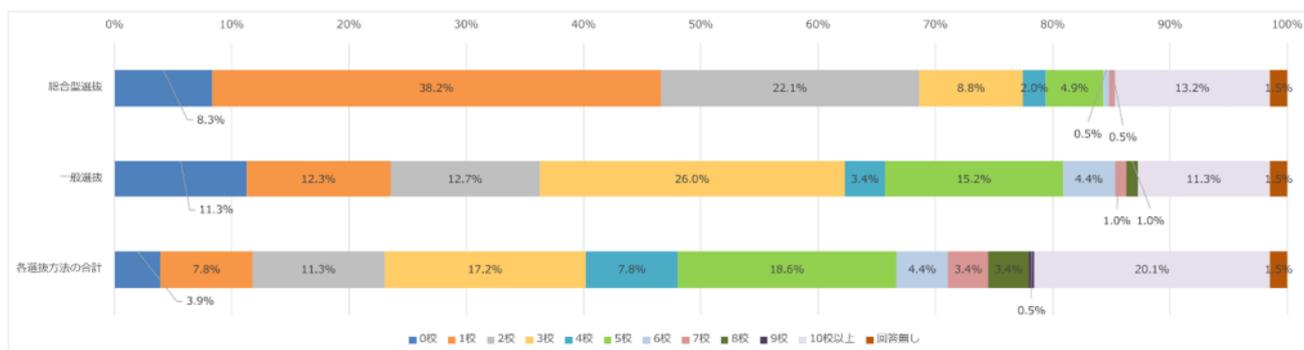
※選択肢「9校」はいずれのグラフにおいても0%のため表記なし



高校2年生担当

※いずれのグラフも「全日制」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=204



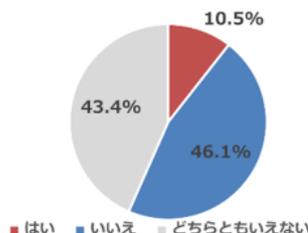
3. 志望学問分野の変化予想（昨年度との比較）

Qあなたが主に指導している学年と昨年の高校3年生（2024年3月卒業）を比較して【志望学問分野】の傾向が変化しそうですか？

高校3年生担当もしくは進路指導責任者

※「全日制」の回答のみを集計

※N数=228



■変化の内容とそう考える理由

（※変化しそうかの設問に「はい」と回答した者のみに内容と理由を聴取。下記は全日制のみ一部抜粋）

回答	高校エリア	主要進路
理系志向がやや増えたことと、上の大学にはない学部・学科志望者が若干増える可能性がある。	関東	進学校（ほぼ大学）
データサイエンスなどの人気がある	関東	進学校（短大・専門含む）
薬学部の減少が、見受けられる	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）
入試が変わるから	九州・沖縄	進学校（ほぼ大学）
カリキュラムの関係	九州・沖縄	進路多様校
理系文系の枠を越えた教育が求められているため。	関東	進学校（短大・専門含む）
進路希望調査で傾向を把握したため	東北	短大・専門・就職メイン校
昨年はいわゆる理系の生徒が多かったため	関西	進学校（ほぼ大学）
短大の希望が昨年からいうと多い。	四国	その他
工学部への進学希望者が例年より多くいるから	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
進路多様校のため、例年通りにはならない	北海道	進路多様校
予備調査では看護系への志望者数が減少しており、理工系の志望者数が増加しています。	関西	進学校（ほぼ大学）
理系希望者が増えているから。	関東	進学校（短大・専門含む）

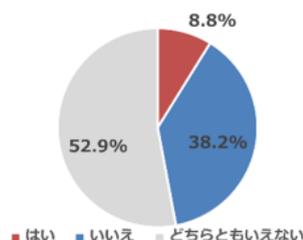
3. 志望学問分野の変化予想（続き）

Qあなたが主に指導している学年と昨年の高校3年生（2024年3月卒業）を比較して【志望学問分野】の傾向が変化しそうですか？

高校2年生担当

※「全日制」の回答のみを集計

※N数=204



■変化の内容とそう考える理由

（※変化しそうかの設問に「はい」と回答した者のみに内容と理由を聴取。下記は全日制のみ一部抜粋）

回答	高校エリア	主要進路
色々な職種があるから	東北	短大・専門・就職メイン校
大学入試共通テストの受験科目が増えたから。	中国	進学校（ほぼ大学）
実務的な学問を探究しようとする傾向があるから	東海	進学校（短大・専門含む）
世の中の子供が減るから	関西	進学校（ほぼ大学）
進学希望が増えているため。	北海道	短大・専門・就職メイン校
就職希望者が多い。	東海	短大・専門・就職メイン校
情報の受験科目化	東海	進路多様校
多様化による	関東	進学校（ほぼ大学）
情報工学系への進学希望者が増加するため	関東	進学校（ほぼ大学）
今年の学年は運動部に所属している者が多く、競技を続けたいという理由で大学進学する生徒が多いため。	東海	短大・専門・就職メイン校
学年の意識の違い	四国	短大・専門・就職メイン校
少子化による大学側の変化	関東	進学校（ほぼ大学）
進路選択の傾向が毎年変わるため	関東	進学校（短大・専門含む）

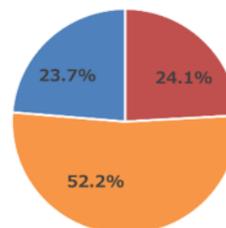
4. 入試制度の変更点や新制度の把握状況

Q. 毎年の各大学、短大、専門学校などの【総合型選抜】の変更点や新制度について、どれくらい把握できていますか？

高校3年生担当もしくは進路指導責任者

※いずれのグラフも「全日制」の回答のみを集計

※N数=228



■ ほぼ把握できている ■ 一部把握できている ■ 把握できていない

■ 把握できていない部分がある要因 (※「一部把握できている」および「把握できていない」回答者のみ、全日制のみ、一部抜粋)

回答	高校エリア	主要進路
メジャーでない大学は抑えていない	九州・沖縄	進学校 (短大・専門含む)
共通テスト科目が新しくなることもあり、共通テスト併用の総合型選抜や学校推薦型選抜の共通テスト科目を把握しきれしていない。特に情報の受験の有無が把握しきれない。	関東	進学校 (短大・専門含む)
新設校の分がよくわからない	九州・沖縄	進学校 (短大・専門含む)
制度が難しい	甲信越	進路多様校
共通テストの科目変化や内容について流動性があるから。	関東	進学校 (短大・専門含む)
専門学校と大学・短大では違いがあるため。	関東	進路多様校
年度によって変化する学校があるから。	東海	進学校 (短大・専門含む)
業務過多で個別に情報を追うのが困難	関東	進学校 (ほぼ大学)
新課程に伴う変化	東海	進路多様校
国公立大学を含めて採用する学校が増えている	関東	進学校 (ほぼ大学)
総合型は教員が指導して出願する性質のものではない。出願したいものが自分で調べれば良い。こちらは書類を作る以上のことはしない。	関東	進学校 (ほぼ大学)
何で確認すればよいか、わからない	関西	進路多様校
毎年変化すること。各学校がさまざまな入試内容を持っていること。情報過多で処理できないこと。	東海	進路多様校
新しい情報の提供時期が各学校毎に違うため	東北	短大・専門・就職メイン校
国公立などは正式な情報が出るのが遅いため。一般選抜については該当者がほぼゼロのため、範疇に入っていない。	中国	進路多様校
説明会等や高校訪問等で把握できている部分以外は手薄であるから。	九州・沖縄	進路多様校
大学ごとに変更点が多すぎて、把握しきれない	関西	進学校 (短大・専門含む)
各大学の細かい入試制度の変更を、ほかの教員と共有する時間がないため。	関西	進学校 (短大・専門含む)
多種多様な実施内容、評価観点、情報を調べるのに時間が足りない	北海道	進路多様校
総合型選抜を実施する学校が多く、把握ができない	関西	進学校 (短大・専門含む)
変更点や新制度をまとめた資料がどこにあるのかわからない	東海	進路多様校
生徒の志望する可能性のある学校に対象を絞っているため、関西方面、地方の学校の情報は把握していない。	関東	進学校 (短大・専門含む)
大学間で特色に差があり、変更も多い。	四国	進路多様校
学校によって多岐にわたり、選抜名も異なるため把握しきれない	九州・沖縄	進路多様校
上級学校の方が高校に来校し、説明していただいた制度や生徒が志望校に挙げる学校の入試制度はほとんど把握しているが、その他については把握していないものがほとんどである。	北海道	進路多様校
大学入学共通テストの教科科目の変更の年であり、各大学等が入試科目や選抜方法を見直している。変更する学校が多く、すべてを把握しきれない現状がある。	甲信越	進学校 (短大・専門含む)

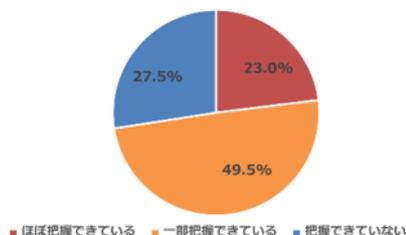
4. 入試制度の変更点や新制度の把握状況（続き）

Q. 毎年の各大学、短大、専門学校などの【総合型選抜】の変更点や新制度について、どれくらい把握できていますか？

高校2年生担当

※「全日制」の回答のみを集計

※N数=204



■ 把握できていない部分がある要因（※「一部把握できている」および「把握できていない」回答者のみ、全日制のみ、一部抜粋）

回答	高校エリア	主要進路
国公立は年度によって、変化させる事があるから。	中国	進学校（ほぼ大学）
仕組みが複雑だから	関東	進学校（短大・専門含む）
各大学の発表が遅い	関東	進学校（ほぼ大学）
あまり受けない学校の情報はあまり役立たないから	関西	進路多様校
年々変わってきていて、情報整理が必要	東海	進学校（短大・専門含む）
情報が多すぎて分からない	関西	進学校（ほぼ大学）
業務が多忙で精査する時間がない	関東	進学校（ほぼ大学）
手が回っていない	東北	進学校（ほぼ大学）
研修制度をもたない学校に務めていて、日々の業務に追われているため	関西	進学校（短大・専門含む）
独自の形式で、全部を把握しきれない	関東	進学校（ほぼ大学）
生徒の志望校傾向の変化	東海	進路多様校
情報がなかなか手に入らないから	甲信越	進学校（ほぼ大学）
進学に向けての指導より就職に向けての指導に手を取られている。	中国	短大・専門・就職メイン校
新課程過渡期のため	中国	進路多様校
研究している時間が足らなすぎる	東海	進学校（短大・専門含む）
受験希望者や受験資格等基準が満たない場合が多い	東海	進路多様校
まとめられた資料で後追いつめる形のため	関西	進学校（短大・専門含む）
年々変化していることと、生徒の志望校が前年までの実績のない学校になることがあるから	東北	進路多様校
毎年の変化が多く、大学によって方式が様々な為。	関東	進学校（短大・専門含む）
専門学校の総合型のエントリーが次第に早期になっているため。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
情報量が多すぎてうまくまとめられない。近隣についてはある程度業者や大学からの情報提供から把握している。	関西	進学校（短大・専門含む）
変更がある学校が多いため	甲信越	進学校（短大・専門含む）
各大学ごとの特色が多様で全てを網羅できない	北海道	進学校（短大・専門含む）
道内の学校については集約しているが、道外については志望者がいた時に調べるため	北海道	短大・専門・就職メイン校
すべての大学の受験方式を理解するのは難しい	九州・沖縄	進学校（ほぼ大学）
総合型選抜を取り入れる大学が増えたことが要因。	四国	短大・専門・就職メイン校

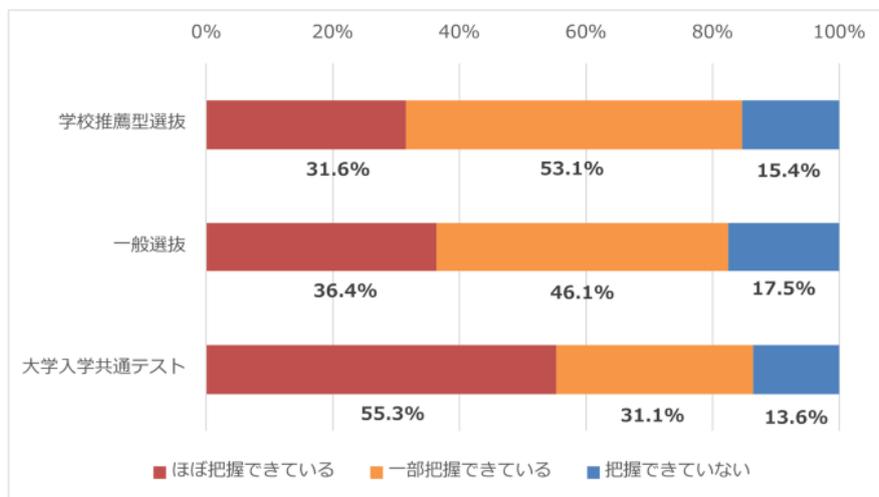
4. 入試制度の変更点や新制度の把握状況（続き）

Q. 毎年の各大学、短大、専門学校など入試制度の変更点について、どれくらい把握できていますか？
 【学校推薦型選抜／一般選抜／大学入学共通テスト】について教えてください。

高校3年生担当もしくは進路指導責任者

※「全日制」の回答のみを集計

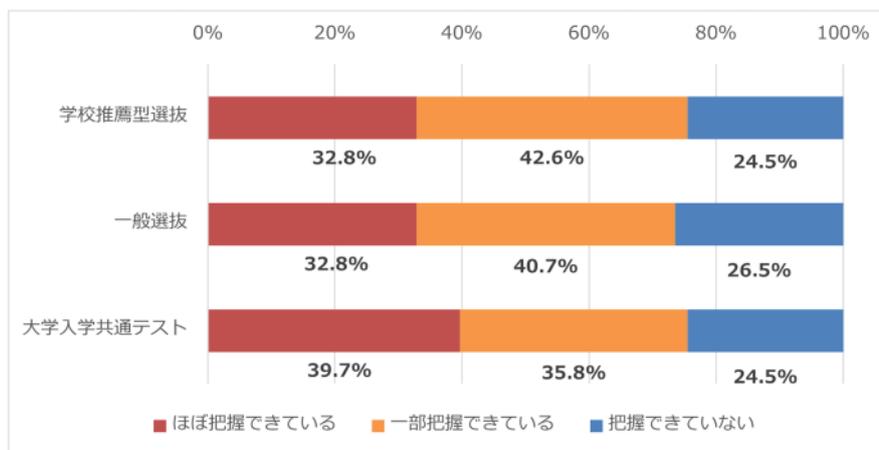
※いずれのグラフもN数=228



高校2年生担当

※「全日制」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=204



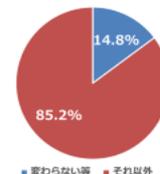
5. 志望校選びの傾向

Q. あなたが主に指導している学年の【大学・短期大学】志望校選びの傾向について教えてください。また、考えられる要因があればそれも含めて教えてください。

(例) 地元志向性がやや緩和され、県外の学校も見られるようになっている。

■「特になし」などの回答割合

回答者 560 名中、「わからない」「不明」に類する回答 40 件を除く 520 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 77 件。(520 件中の 14.8%)。



■考えられる要因 (一部抜粋)

回答	課程	高校エリア	主要進路	担当学年
挑戦しなくなっている。全入時代で選ばなければどこかには入れるから。	全日制	東北	短大・専門・就職メイン校	2年生
地元志向が生徒保護者ともに強い。	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	1年生
女子が難関校にチャレンジするようになった。	全日制	関東	進学校 (ほぼ大学)	2年生
経済状況は厳しく、自宅から通えるかどうかが条件となる生徒が多い。	全日制	関東	進学校 (短大・専門含む)	1年生
特に地元志向が強くなり、G大、U大、I大は難化する。年内入試の枠が増えるとはいえ、志願者数の増加の方が大きいと予測する。また、受験生とその家族のメンタルがどんどん弱まり、安全志向が強まる為、大学や学部を優先させるより指定校志望が増加する。	全日制	関東	進学校 (短大・専門含む)	3年生
総合型選抜(学校推薦型)が多い。一般選抜受験者は浪人覚悟で難関大学を目指している。	全日制	関東	進学校 (短大・専門含む)	3年生
難関国公立大志向が強くなり、地元へのこだわりは少ない。	全日制	北海道	進学校 (ほぼ大学)	3年生
首都圏への進学希望が増加	全日制	北陸	進学校 (ほぼ大学)	3年生
理系では情報系の学部を選ぶ生徒が増加傾向にある。	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校	3年生
地方の国公立大学の志望者も増え、田舎の学校には行きたくないといった考えは減ってきている	全日制	東海	進学校 (短大・専門含む)	2年生
偏差値、ネームバリューが優先される	全日制	関東	進学校 (ほぼ大学)	3年生
未だに地元志向が強いが、県外にも目を向ける人数も増えている	全日制	中国	進学校 (ほぼ大学)	3年生
ダブルディプロマを目指す生徒が増える。	全日制	関東	進学校 (短大・専門含む)	3年生
国公立大学志望。苦勞しなくても合格できる大学志望。以上の二極化がすすんでいる。	全日制	関西	進学校 (ほぼ大学)	2年生
将来希望する職業に沿った志望校を選んでいる。	全日制	九州・沖縄	進路多様校	2年生
浪人などは視野にいれず、現役重視になっている	全日制	中国	進学校 (ほぼ大学)	2年生
保護者の考え方の影響が大きい	全日制	東海	進学校 (短大・専門含む)	2年生
大学への接続が謳われているコースがあるため、入学時よりそこを目指す生徒も多い。いっぽうで学校としては、海外の大学も視野に入れ、そちらの方面への誘導も積極的に行なって行く方針のようである。	全日制	関西	進学校 (短大・専門含む)	1年生
堅実に志望大学を選択する生徒は多いが、チャレンジする生徒もある程度の割合で増加すると思える。少子化が進むため。	全日制	関東	進学校 (ほぼ大学)	2年生
ネームバリューではなく、実際学校を見に行き決める生徒が増えている	全日制	関東	進路多様校	2年生
理数科の生徒なので基本的には、県内外問わず国公立大学を目指している。地域柄や家計などで、都会の私立大学を希望する生徒は少ない。	全日制	九州・沖縄	進学校 (短大・専門含む)	3年生
探究の時間で関心をもつ学問分野を進路とする生徒も増えてきている	全日制	甲信越	進学校 (短大・専門含む)	3年生
大学は県内4割、県外6割程度で推移している。高卒就職希望が減り、大学進学希望が増えている。世の中の指向もあるし、本校生徒の学力が上がったのもある。	全日制	甲信越	進学校 (短大・専門含む)	その他
女子校であるせいか、保護者の意向に影響されやすく、地元志向が強い。	全日制	関東	進学校 (ほぼ大学)	その他
早期に決定したいと考える家庭が増えている。地元ではなく県外を考える生徒が増えている。	全日制	九州・沖縄	進学校 (短大・専門含む)	3年生
県内国公立大学、地方国公立大学への出願が増えてきている。しかし、コロナがあげて都市部への回帰が見込まれる。	全日制	甲信越	進学校 (短大・専門含む)	3年生
コロナによる影響も少なくなり、関東関西地区に目を向ける生徒も増えつつある。	全日制	東海	進学校 (短大・専門含む)	3年生
理工系への志願者数が増えています。国の取り組みも影響していると思います。女子大への志願者数も増加しています。入りやすくなったので、敬遠する傾向がりましたが、伝統校も多く、女子大の取り組みに好意的な印象を持つ生徒が増えたためと考えています。	全日制	関西	進学校 (ほぼ大学)	3年生

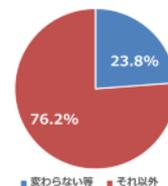
5. 志望校選びの傾向（続き）

Q.あなたが主に指導している学年の【専門学校】志望校選びの傾向について教えてください。また、考えられる要因があればそれも含めて教えてください。

（例）大学に行く学力もあるが、手に職を意識して専門学校を選ぶ生徒も増えた。

■「特になし」などの回答割合

回答者 624 名中、「不明」「専門進学実績なし」に類する回答 141 件を除く 483 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 115 件。（483 件中の 23.8%）。



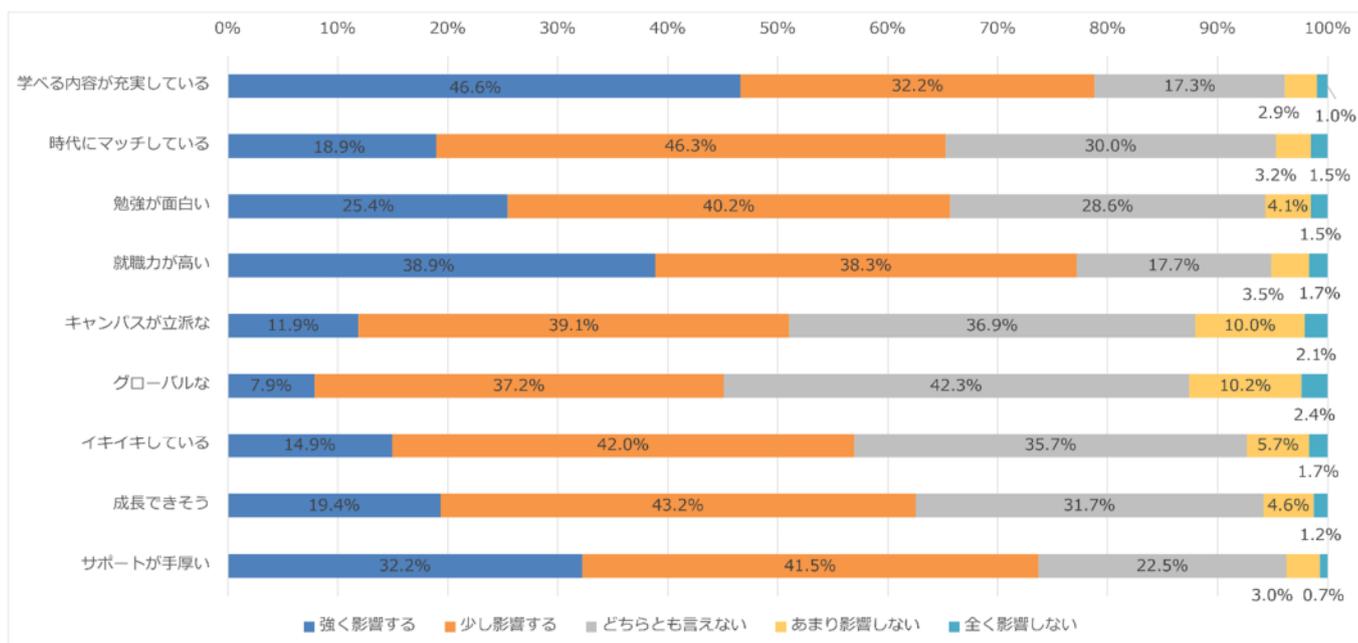
■考えられる要因（一部抜粋）

回答	課程	高校エリア	主要進路	担当学年
高卒で就職することに抵抗感がある生徒とはっきりした職業観をもつ生徒にわかれる。	全日制	東北	進路多様校	3年生
医療専門系以外は志願者数が減っている。ホワイトな職につくためには大学に行く必要があるという認識が強まっている。	全日制	関東	進学校（短大・専門含む）	3年生
明らかに一年時から変更せず、志望校を一つに絞っている生徒が増えてきている。	全日制	東海	進学校（短大・専門含む）	3年生
認可校で実績のある学校	全日制	北海道	進路多様校	3年生
オープンキャンパスに積極的に参加する。	全日制	東北	進学校（短大・専門含む）	3年生
海外校を展開している学校への志望が増える。	全日制	関東	進学校（短大・専門含む）	3年生
大学に行ける学力があるが、専門的に学びたい人がいる	全日制	関西	進学校（短大・専門含む）	1年生
国家資格が取れるものが多い	全日制	関東	進学校（短大・専門含む）	1年生
就職を意識した専門学校を選ぶ生徒が増えた	全日制	北海道	進路多様校	2年生
4年間の学費を支払うことが不可能なため、2年間の専門学校を選択する。学力の問題も有る。	全日制	関西	進学校（短大・専門含む）	2年生
専門職を養成する学校は一定数希望があるが、ビジネス系、IT系などの学校は人気落ちている	全日制	北陸	進路多様校	1年生
やりたいことが明確で専門性を高めたい	全日制	中国	短大・専門・就職メイン校	2年生
学力が高いか低いかに関係なく、将来の希望の職業を見据えて選ぶ。	全日制	関東	進学校（短大・専門含む）	1年生
地元の公務員系を養成する学校が多い	全日制	東北	進路多様校	1年生
動物看護が国家資格となり、志願者が増えた	定時制	関東	短大・専門・就職メイン校	2年生
学力が低いから専門へ、という考えは減った	全日制	東海	進学校（短大・専門含む）	2年生
実習の多さに魅力を感じる生徒が多い	全日制	関西	進路多様校	2年生
女子で一定数の看護志望がいる。歯科衛生士など、手に職をつける分野の専門学校のニーズが高い。	全日制	中国	進路多様校	3年生
入学試験に負担感を覚える生徒も多い。また、専門的知識と技能を身につけることができる専門高校への希望者は多いように感じる。	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	2年生
県外が多く、就職の際の地域も考えて進学先を決めている	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	3年生
資格にこだわる面もあるが、学力に自信がないため安易に早期合格を決めたがる傾向がある。	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	1年生
美容系の仕事へのあこがれを抱いている生徒が多い。十分な進路研究をせずに専門学校進学を決め、入学後にミスマッチに気づく。	全日制	関西	短大・専門・就職メイン校	その他
大学に行く学力はあるが、メイクや動物関係など、大学で学ぶのは難しい分野に興味を持っている生徒が多い。	全日制	関西	進学校（短大・専門含む）	3年生
自分の将来やりたいことに直結する専門を選択しており、早い段階で学校見学やオープンキャンパスなどに赴いて決定している。	定時制	東海	その他	3年生
自分の「好き」に従って決める生徒が多い。「目指す大人になれるか？」が1番の物差し。	通信制	関東	短大・専門・就職メイン校	その他
大学まで行かなくても、同じ資格が専門学校で取得できる場合、専門学校を選択する生徒が増えた。	定時制	九州・沖縄	進路多様校	その他
看護、幼児教育が多い。女子生徒に人気の分野である。	全日制	関西	進学校（短大・専門含む）	3年生
社会に出てからのイメージがしっかりとできていない生徒とそうでない生徒の差が激しいです。志望する分野によるのでしょうか。	全日制	関東	進路多様校	その他
先輩の進学先を調べる中で決めていく傾向もみられる	全日制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	1年生
地元志向。大学に行ける学力もある生徒でも、親元で地道に手に職をとおえる生徒もいる。	全日制	四国	その他	3年生
大学に行く学力もあるが、4年間学修するまでの意欲がなくやむを得ず専門学校としている生徒が多い。	全日制	東北	進学校（短大・専門含む）	3年生
医療系など資格の取れる学校が人気。ゲームやアニメの専門学校希望も増えた	全日制	九州・沖縄	進学校（短大・専門含む）	3年生
オープンキャンパスなどに積極的に参加し、熟考して志望校を選ぶ生徒が多い。	全日制	関東	進学校（短大・専門含む）	3年生
本校で専門学校へ出願している生徒の大半が、スポーツ系の生徒、学力が特に低い生徒です。	全日制	甲信越	進学校（短大・専門含む）	3年生

6. 進路指導におけるイメージの影響

Q. 次のうち、どんなイメージの学校に魅力を感じますか？
 進路指導の際に各イメージ項目がどれぐらい影響するか選んでください。

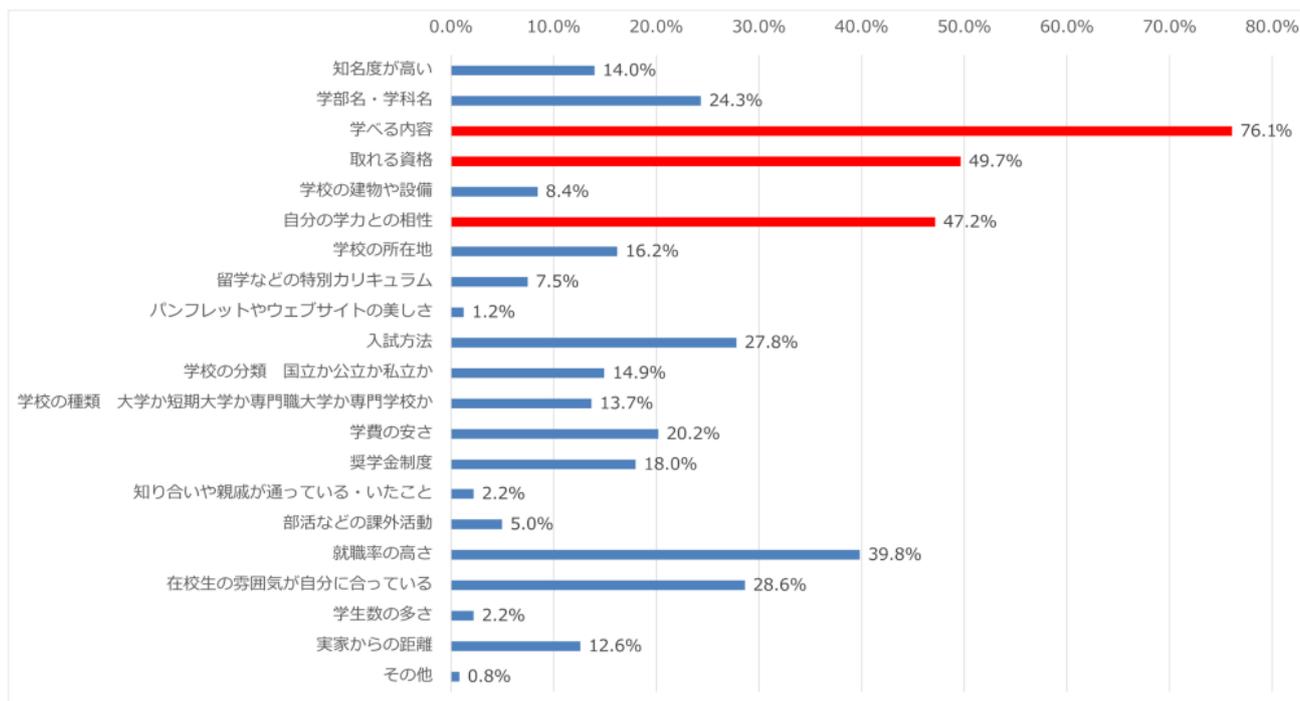
※いずれのグラフもN数=723



7. 生徒に重視してほしいポイント

Q. 生徒が志望校を選ぶ際、重視してほしいポイントについて、当てはまるものを全て選択してください。（複数回答可）

※いずれのグラフもN数=723



■その他の回答内容（一部抜粋）

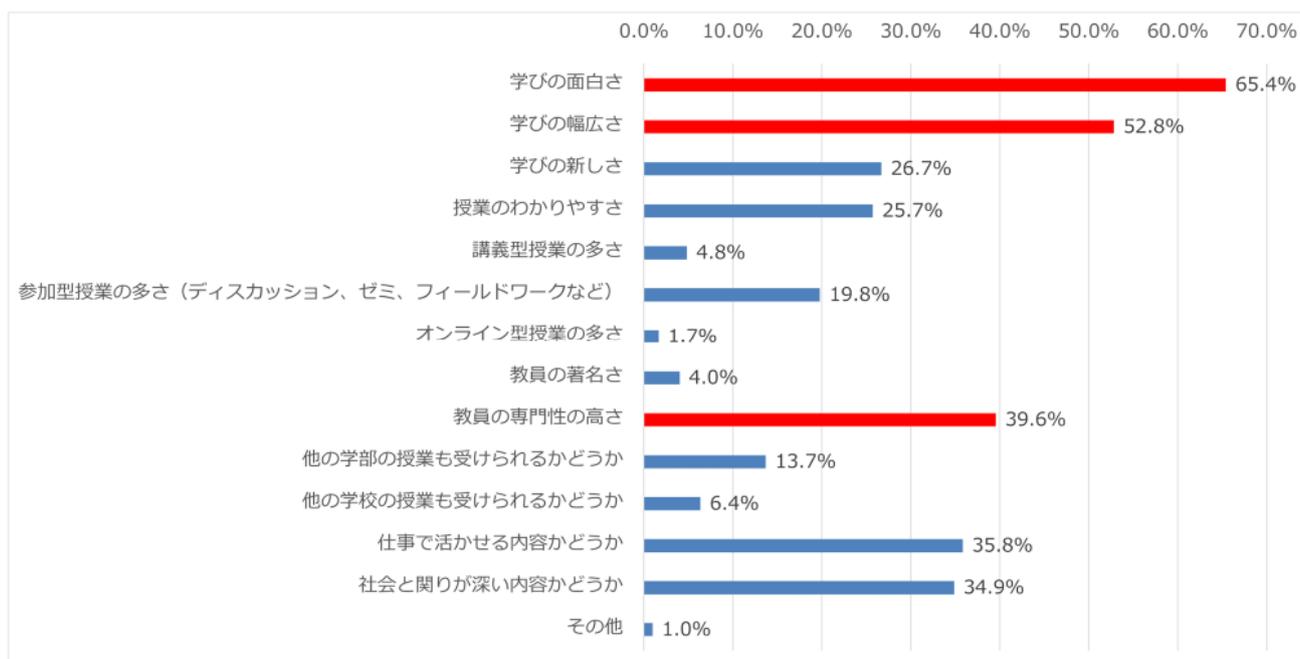
- ・学費を払えるか
- ・学びたい分野が適合しているか
- ・オープンキャンパスでの印象
- ・将来の夢を実現できる

7. 生徒に重視してほしいポイント（続き）

Q.【学べる内容】のうち、生徒に重視してほしい内容は何か。（複数回答可）

※いずれのグラフもN数=723

※「定時制」「通信制」の回答を含む



■その他の回答内容（一部抜粋）

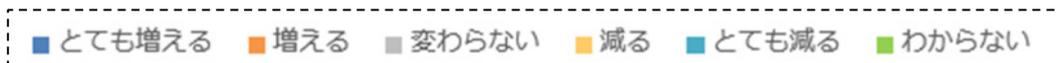
- ・卒業まで在籍できるか
- ・理解できる内容か
- ・偏差値ではない社会づくり
- ・自分の興味に合った研究室があるか

8. APPENDIX

8-1. 受験人数の変化予想（昨年度との比較） — 主要進路別 —

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2024年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

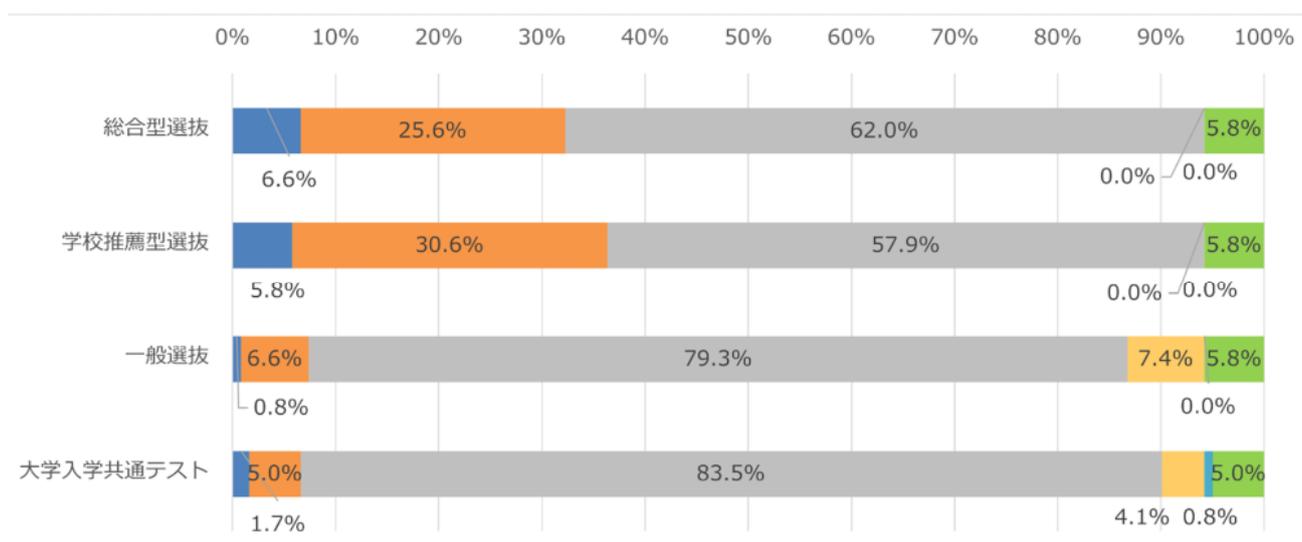
▼下記の帯グラフ共通の凡例



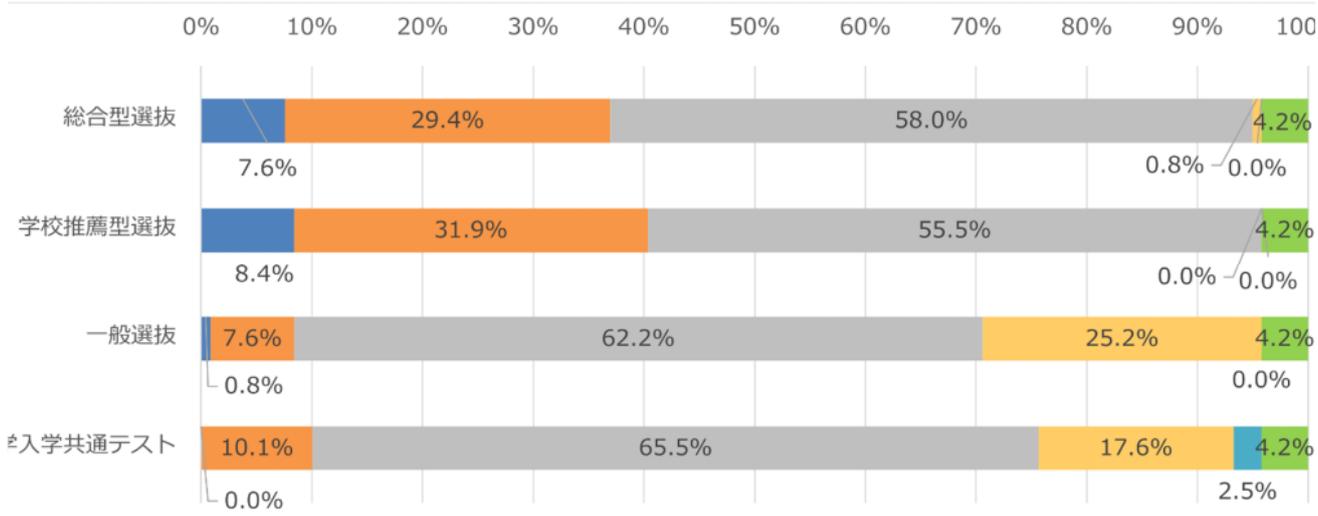
※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※高校3年生・高校2年生・進路指導責任者の合計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N数=121）



「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N数=119）

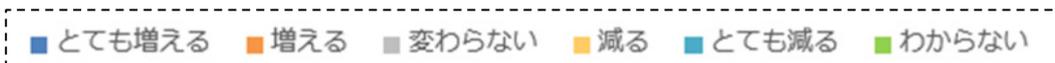


8. APPENDIX

8-1. 受験人数の変化予想（昨年度との比較） — 主要進路別 —（続き）

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2024年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

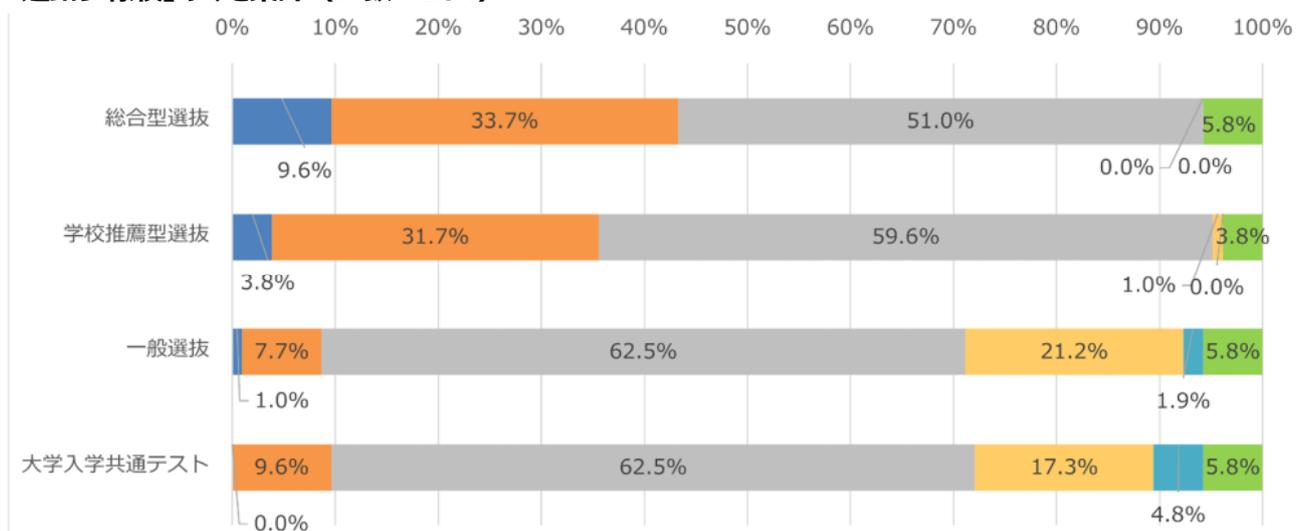
▼下記の帯グラフ共通の凡例



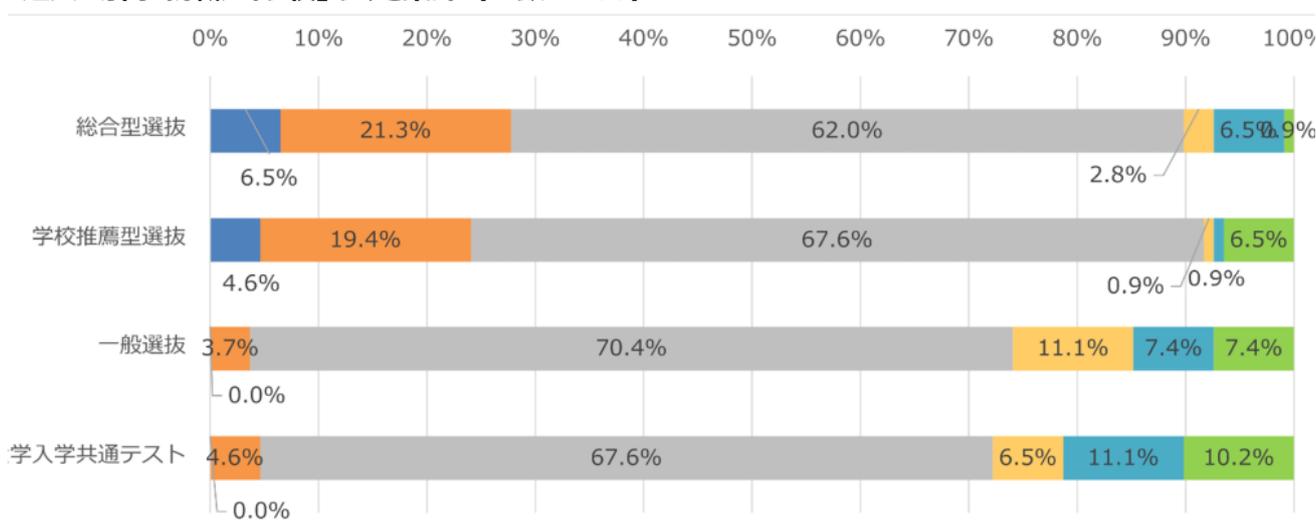
※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※高校3年生・高校2年生・進路指導責任者の合計

「進路多様校」のみを集計（N数 = 104）



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計（N数 = 108）



8. APPENDIX

8-2. 出願させる予定の校数 — 主要進路別 —

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、何校ぐらい出願するよう指導予定ですか？

【総合型選抜／一般選抜／各選抜方式を合計した校数】を教えてください。

▼下記の帯グラフ共通の凡例



※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※高校3年生・高校2年生・進路指導責任者の合計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N 数 = 121）



「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N 数 = 119）



8. APPENDIX

8-2. 出願させる予定の校数 — 主要進路別 — (続き)

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、何校ぐらい出願するよう指導予定ですか？

【総合型選抜／一般選抜／各選抜方式を合計した校数】を教えてください。

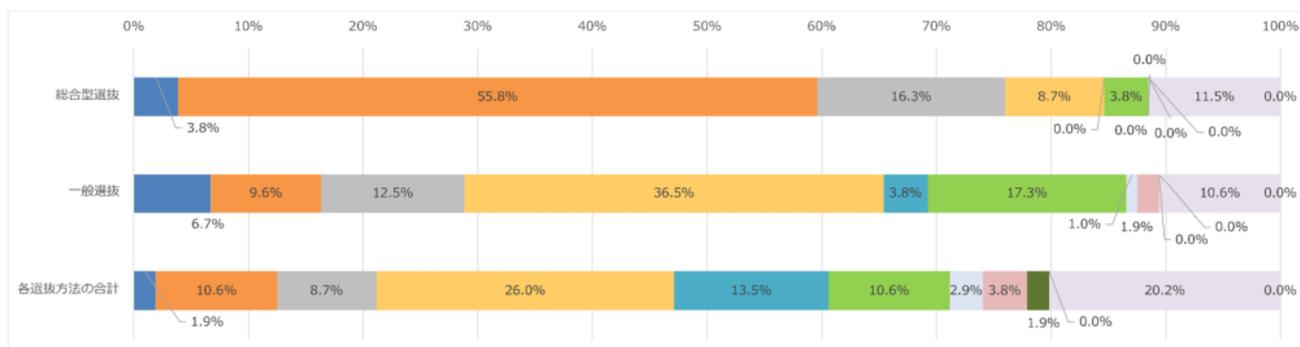
▼下記の帯グラフ共通の凡例



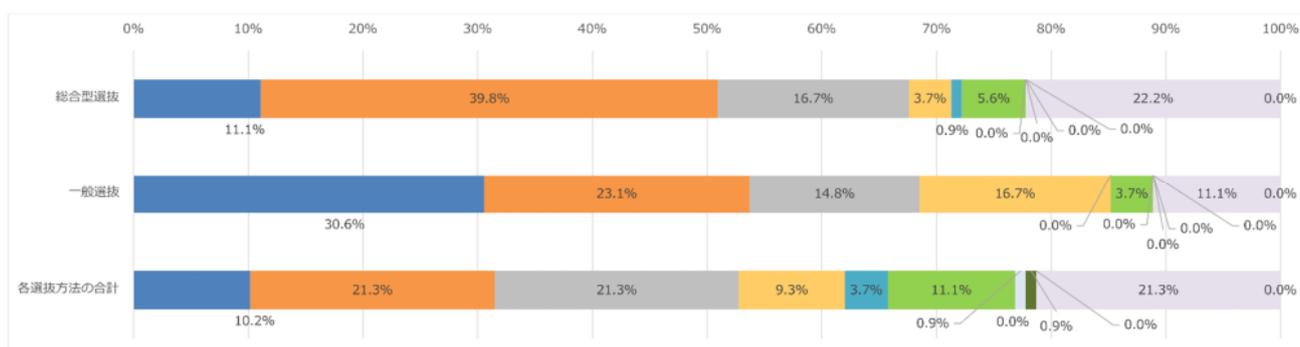
※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※高校3年生・高校2年生・進路指導責任者の合計

「進路多様校」のみを集計 (N 数 = 104)



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計 (N 数 = 108)



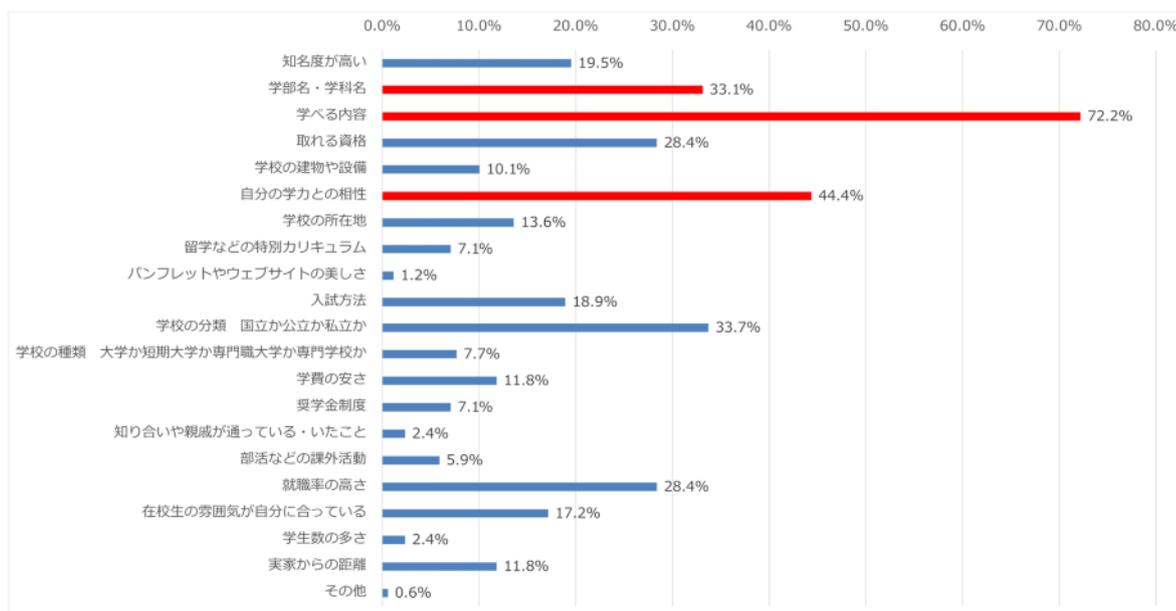
8. APPENDIX

8-3. 生徒に重視してほしいポイント— 主要進路別 —

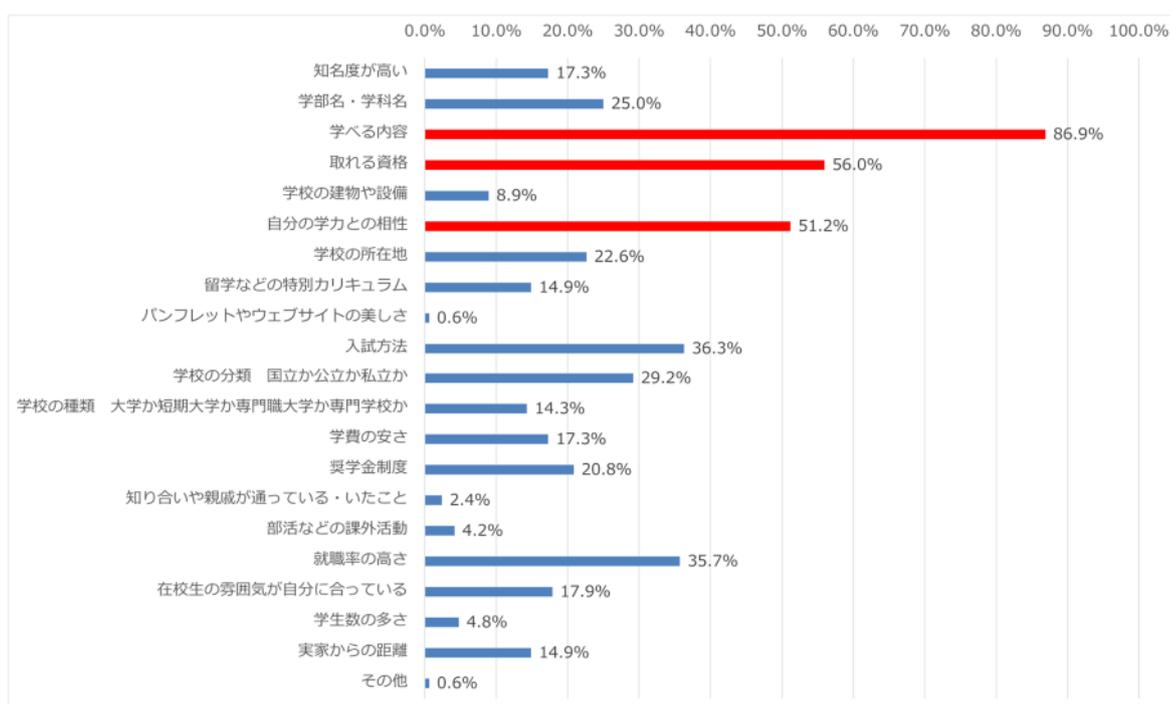
Q. 生徒が志望校を選ぶ際、**重視してほしいポイント**について、当てはまるものを全て選択してください。（複数回答可）

※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N 数 = 169）



「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N 数 = 168）



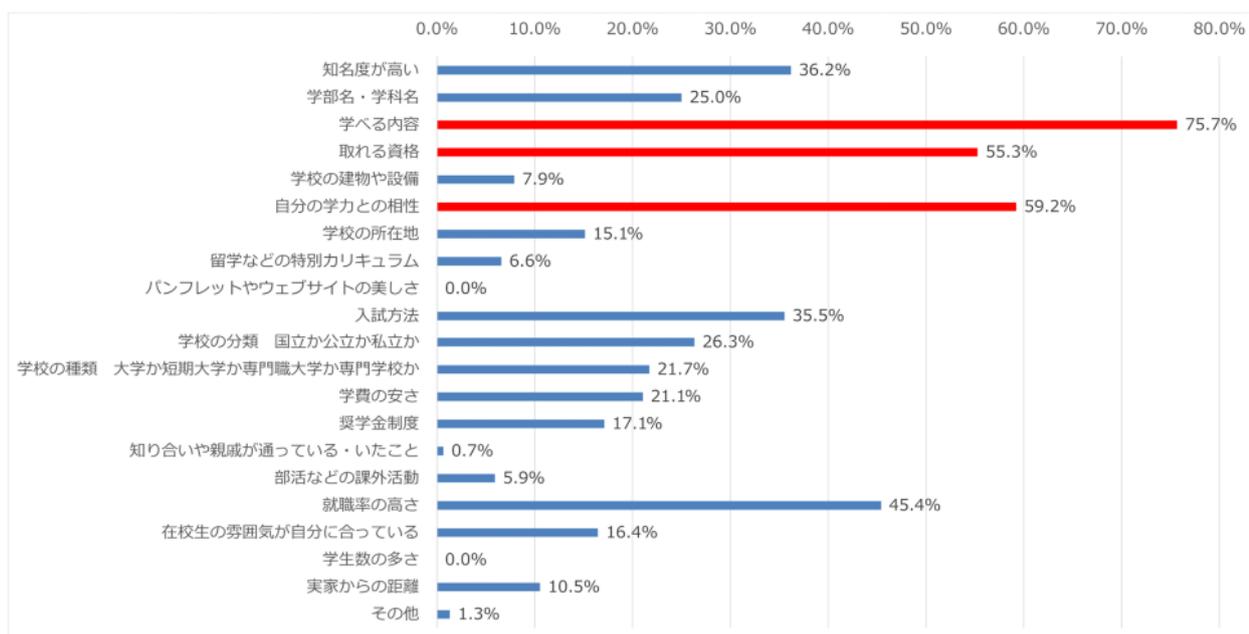
8. APPENDIX

8-3. 生徒に重視してほしいポイント— 主要進路別 — (続き)

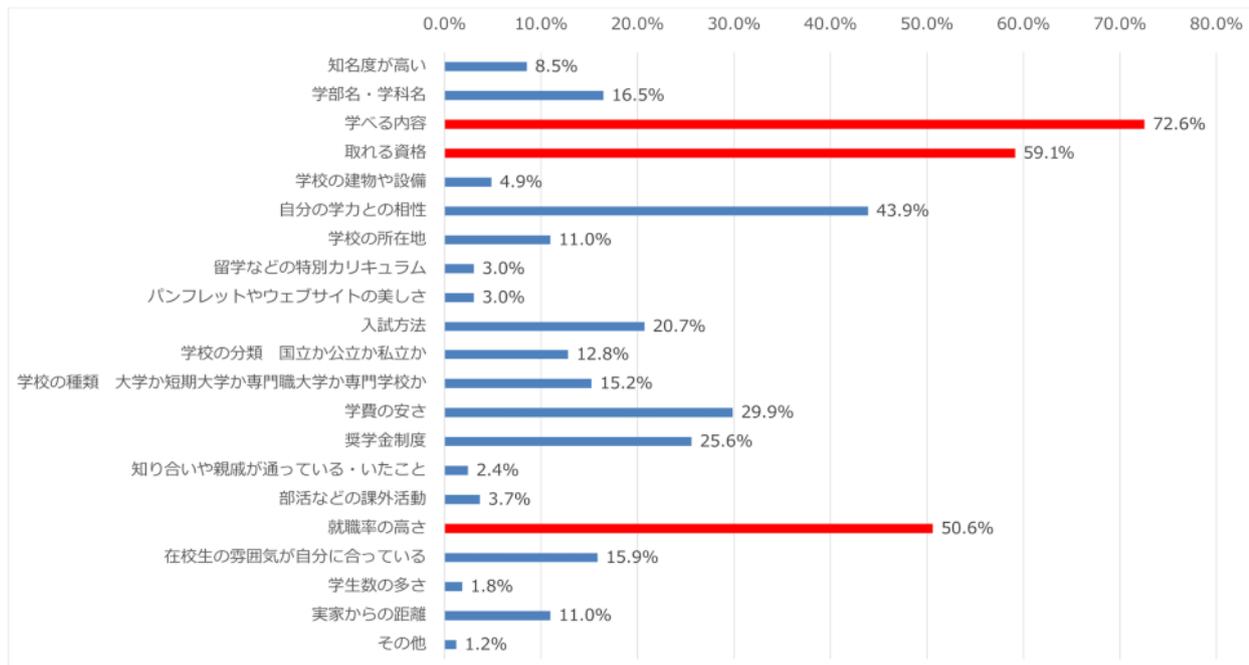
Q. 生徒が志望校を選ぶ際、**重視してほしいポイント**について、当てはまるものを全て選択してください。(複数回答可)

※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進路多様校」のみを集計 (N 数 = 152)



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計 (N 数 = 152)



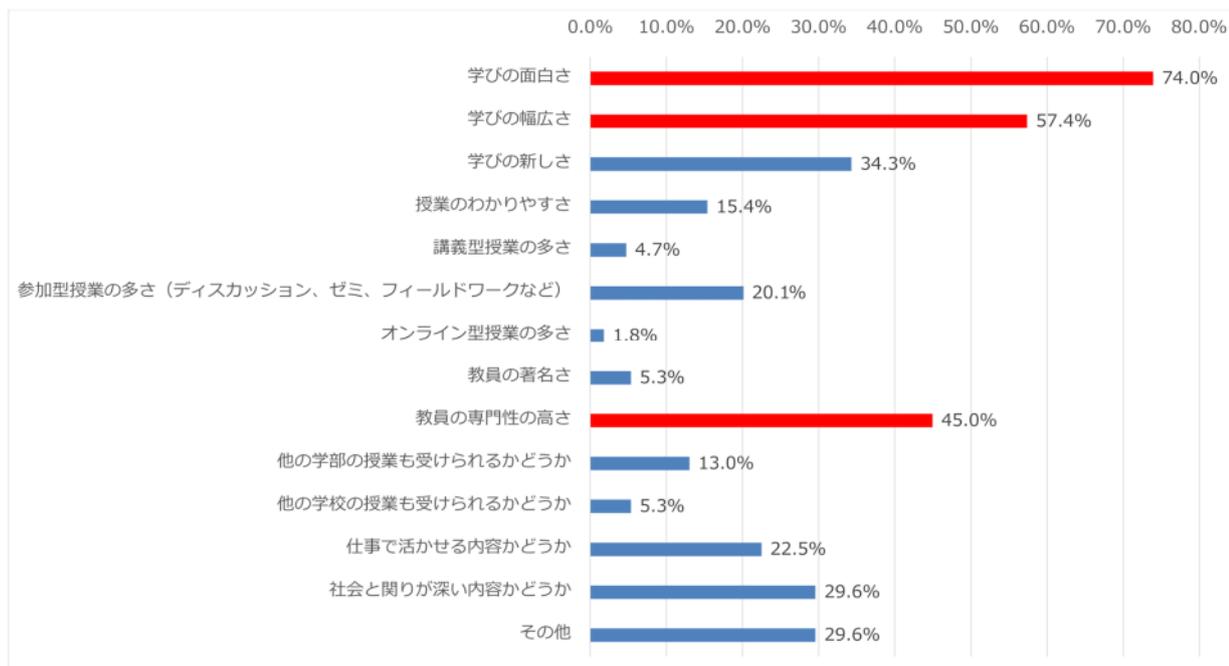
8. APPENDIX

8-3. 生徒に重視してほしいポイント — 主要進路別 — (続き)

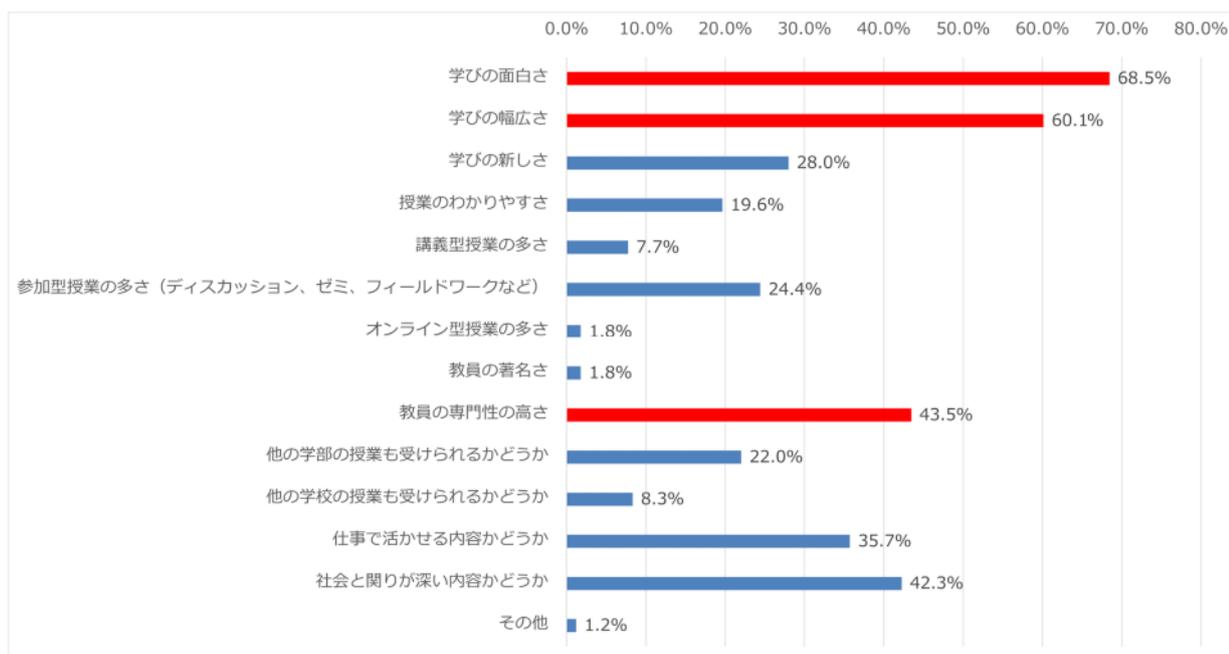
Q.【学べる内容】のうち、生徒に重視してほしい内容は何か。(複数回答可)

※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N 数 = 169）



「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N 数 = 168）



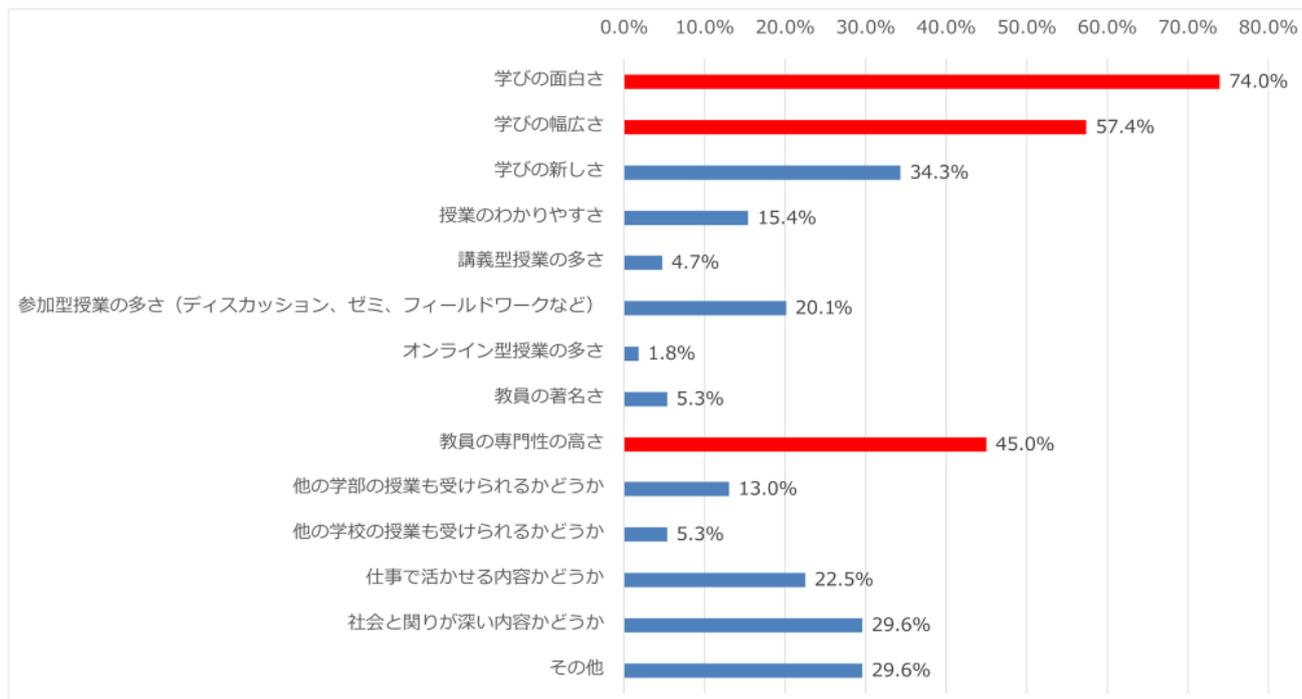
8. APPENDIX

8-3. 生徒に重視してほしいポイント— 主要進路別 — (続き)

Q.【学べる内容】のうち、生徒に重視してほしい内容は何ですか。(複数回答可)

※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進路多様校」のみを集計 (N 数 = 152)



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計 (N 数 = 152)

